

# 1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

## (1) 豊かな自然環境と共生した生活を実現します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

### 「美しいくらはら」景観計画策定調査事業 戦略1 884万円

(担当：都市計画課都市計画係)

自然と共生する美しい定住環境の整備、環境負荷の少ない景観素材・デザインによるまちづくり、景観とツーリズムの連携など、栗原ならではの景観を「資源」として活かし取り組むため、景観計画を策定します。



景観を「資源」として活かす計画を策定します

### 住宅用太陽光発電設備設置事業補助金 戦略3 1,200万円

(担当：環境課環境政策係)

地球温暖化対策と低炭素社会の実現を目的として、一般家庭における太陽光発電システムの設置に対して助成します。



一般家庭への普及が進む太陽光発電

### 農地・<sup>みず</sup>水保全管理支払交付金事業 6,299万円

(担当：農業政策推進室農業政策推進係)

田や畑及び農業用水などの資源や農村環境の良好な保全とその質の向上を図るため、地域ぐるみで参加する共同活動や水路などの施設の更新、補修を行う長寿命化の活動に対して支援します。



共同活動による農業用水路の草刈り

## (2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

### 地域交通対策事業 2億3,777万円 戦略3 (担当：市民協働課地域振興係)



公共交通の利便性の向上を図るため、高齢者の通院や中学生・高校生の通学に配慮しながら、交通空白地域の解消や、市民のニーズに合わせた市民バス路線・時刻の設定を行います。

また、子育て及び教育に係る経済的負担を軽減するため、市民バス全路線（古川線を除く）において、中学生・高校生の市民バス片道運賃を100円にし、古川線では、通学定期券を購入した中学生・高校生の保護者に対して助成します。

財源 県の負担額 1,400万円 市の負担額 2億2,377万円

# 1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

## (2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

### 道路整備事業

12億2,242万円

戦略1・2・4・5

(担当：建設課建設係)

市民の生活を支える基礎となる市道(橋梁)を整備し、安全で快適な道づくりを実施します。

《築館》日吉通線他3路線、栗原中央西線、  
下中道線、久伝線、城生野根岸線  
《若柳》川北花泉線、大袋8号線  
《栗駒》上町裏線、上町裏住宅1号線他1路線、  
元木線  
《高清水》覚満寺線(2期)、外沢田長根線  
《一迫》清水目・嶋躰線  
《鶯沢》辻前遠堀線 《金成》片馬合萩荘線  
《志波姫》御蔵線 《花山》合道軍沢線合道吊橋



市道川北花泉線(若柳)

### 都市計画街路事業

2億9,604万円

戦略1

(担当：都市計画課都市計画係)

都市計画道路として安全で快適な交通体系を確保しながら、利用しやすい街路づくりを推進していきます。

《築館》一迫南線、駅前大通線、源光町田線  
《志波姫》桜町線 《若柳・志波姫》新山十文字線

財源 国・県の負担額 8,125万円  
市の負担額 2億1,479万円  
(うち市債[借入金] 1億8,250万円)



整備中の都市計画道路一迫南線(築館)

### 道路橋りょう維持事業

3億7,000万円

(担当：建設課維持係)

市道や生活道路等の補修や側溝整備を行い、安全で安心な道路環境を造ります。





市道広域線(栗駒) 施工前



施工後

# 1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

## (2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

### 市営住宅整備事業

2億5,648万円

戦略3

(担当：建築住宅課建築係)

安心して暮らせる居住環境・生活環境の整備と定住を促進するために、地域と密着・連携した定住促進住宅の建設を行います。

市営住宅の建設 (瀬峰) (仮称) 定住促進下藤沢住宅  
公営住宅の解体 (栗駒) 市営上町裏住宅



(仮称)定住促進下藤沢住宅 敷地 (瀬峰)

財源	国の負担額	2,105万円
	市の負担額	2億3,543万円

### 住環境リフォーム助成事業

5,000万円

戦略3

(担当：建築住宅課建築係)

バリアフリーや防災、省エネ等と併せて実施する個人住宅のリフォームに対して、工事費の1/10(上限20万円)を助成します。

## (3) 安全・安心なまちづくりを推進します

### 災害から市民の生活を守る道路整備 1億4,715万円

(担当：建設課建設係)

市道大林線「徳富橋」の架替と、市が管理する道路橋の耐用年数を延ばすため、計画的な修繕を行います。

《若柳・志波姫》(仮称) 栗原東大橋橋梁整備事業  
《市内一円》 市道橋長寿命化対策



市道橋長寿命化対策 後沢橋 (築館)

### 指定避難施設誘導看板設置事業

5,305万円

(担当：危機対策課防災係)

災害時にすみやかに避難できるよう、市が指定する避難所及び避難場所への誘導看板を設置します。

### 災害用備蓄品の整備



720万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

不測の災害に備えて、備蓄用の食料品と飲料水をそれぞれ3日分整備します。

# 1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

## (3) 安全・安心なまちづくりを推進します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

### 水槽車整備事業 5,499万円

(担当: 消防本部警防課警防係)

水利の少ない地域での火災に備え、栗原消防署に5トンの水が積載できる水槽車を配置します。



水槽車  
イメージ

### 高規格救急自動車整備事業 3,196万円

(担当: 消防本部警防課警防係)

救命率の向上のため、栗原消防署南出張所に、高度救命処置用資機材を積載した高規格救急自動車を配置します。



高規格救急自動車

### 再生可能エネルギー等導入事業

4億6,726万円

(担当: 環境課環境政策係)

災害時等に地域住民の生活等に必要不可欠な都市機能を維持するために、地域の防災拠点となる公共施設に太陽光発電設備と蓄電池を設置し、災害に強く環境にやさしいまちづくりを進めます。



太陽光発電設備等を設置する築館総合支所

#### 設置する主な施設

- 築館総合支所
- 高清水総合支所
- 若柳総合体育館
- 高清水・瀬峰・鶯沢診療所

**財源** 県の負担額 4億5,127万円  
市の負担額 1,599万円

### 耐震診断・耐震改修等助成事業

5,954万円

(担当: 建築住宅課建築係)

今後も発生が予想される大地震に備え、耐震診断士を派遣し、昭和56年以前の木造住宅の耐震診断並びに改修設計を行います。また、診断に基づく耐震改修工事に対して助成を行い、安全な居住の確保を支援します。

さらに、高齢者や母子家庭世帯等に対して、タンスなどに家具転倒防止器具の取付に対する助成を行います。

- 木造住宅耐震診断助成事業 : 耐震診断士の派遣、診断・設計
- 木造住宅耐震改修工事助成事業 : 住宅の耐震改修工事への補助
- 家具転倒防止器具取付事業 : 高齢者・母子世帯等への器具取付

**財源** 国の負担額 2,480万円  
市の負担額 3,474万円



耐震改修工事の状況



## 2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

### (1) 次代を担うたくましい子どもを育成します

**新**＝新規事業、**拡**＝拡充事業（事業名の頭に標記）

#### **拡** 学府くりはら教員等配置事業

**戦略5** 6,719万円  
(担当：学校教育課指導係)

きめ細かな教育活動を行うため、市独自に教員を採用して35人学級を編制することにより、学校生活の基本となる学習習慣や生活習慣の着実な定着を図ります。

#### **新** 学府くりはら少人数指導事業

**戦略5** 1,169万円  
(担当：学校教育課指導係)

中学校の国語・数学・英語の授業で、生徒の発達に配慮し個性に応じた教育を行うため、少人数指導の教員を配置し、細やかな指導を行い、学力向上を図ります。

#### **拡** スクールバス運行事業 4億365万円

**戦略4** (担当：学校教育課学務係)

スクールバスを運行し、遠距離通学園児・児童生徒の通学の安全確保と教育環境の整備を図ります。

#### **青空大使派遣事業** 1,003万円

**戦略5** (担当：社会教育課生涯学習係)

市内中学生を対象に海外研修を行い、国際感覚豊かな人材を育成します。



現地学生との交流

#### **拡** 学力向上のための緊急プロジェクト

**戦略5** 1,900万円  
(担当：学校教育課指導係)

宮城教育大学と連携した長期休業中の中学生の学びの場「もっと学びたい子どものための『学府くりはら塾』」の開講や、学び支援コーディネーターを活用した小学生版「学府くりはら塾」、小・中学校の全ての児童生徒を対象とした学力調査や学級生活満足度尺度調査などを行い、総合的な学力向上を図ります。

#### **新** 【仮称】北部学校給食センター整備事業

1億6,480万円  
(担当：学校教育課学務係)

老朽化が著しい給食センターを統合し、新たな給食センターを建設するための設計等を行います。あわせて、単独調理校を含めて給食提供体制を再編し、新しい給食センターから安全で安心な給食を提供するための体制整備を図ります。

#### **拡** 小学校英語教育導入事業

**戦略5** 1,745万円  
(担当：学校教育課指導係)

小学校への外国語指導助手の配置や、夏休みに「英語でキャンプ」、「英語でチャレンジ」を行い、英語教育の充実を図ります。



英語でチャレンジの様子

## 2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

### (2) 人生を楽しむための実践機会を充実します

**新**＝新規事業、**拡**＝拡充事業（事業名の頭に標記）

#### 文化芸術振興事業 3,338万円

（担当：社会教育課文化スポーツ推進係）

著名人を招き、身近で魅力ある内容をテーマとした文化講演会の開催や、岐阜県大垣市と栗原市の俳句団体との交流事業など、質の高い文化芸術の機会を提供します。



講師 山崎 武司 氏（心にきざむ文化講演会の様子）

#### **新** ホッケー競技国際交流事業

戦略1

248万円

（担当：社会教育課文化スポーツ推進係）

オーストラリアの中学生・高校生世代のチームを招致し、国際交流を行い、競技力の向上を目指します。



ホッケー教室の様子

#### **拡** 文化施設改修事業

2億2,662万円

戦略3

（担当：社会教育課文化スポーツ推進係）

栗原文化会館へのエレベーターの設置や若柳総合文化センターの音響設備の改修等を行い、利用者のサービス向上を図ります。

#### **拡** 多目的競技場改修事業

4億8,159万円

#### **新** 多目的コート整備事業

1億 754万円

戦略1

（担当：社会教育課文化スポーツ推進係）

全国規模の大会を招致できるようにするため、一迫多目的広場ホッケーコートの人芝の張替えを行います。

また、ゲートボール等ができる築館多目的コートやテニスコートの整備を行います。



ホッケーの中学生新人大会（一迫多目的広場）

**財源** 市の負担額 5億8,913万円（うち市債〔借入金〕 5億5,960万円）

### (3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります

#### 文化財保護事業

559万円

（担当：文化財保護課文化財係・埋蔵文化財係）

史跡伊治城跡整備基本構想の策定、市内文化財の発掘調査のほか、地域の伝統芸能の支援を行います。

**財源** 国の負担額 150万円  
市の負担額 409万円



発掘調査の様子